

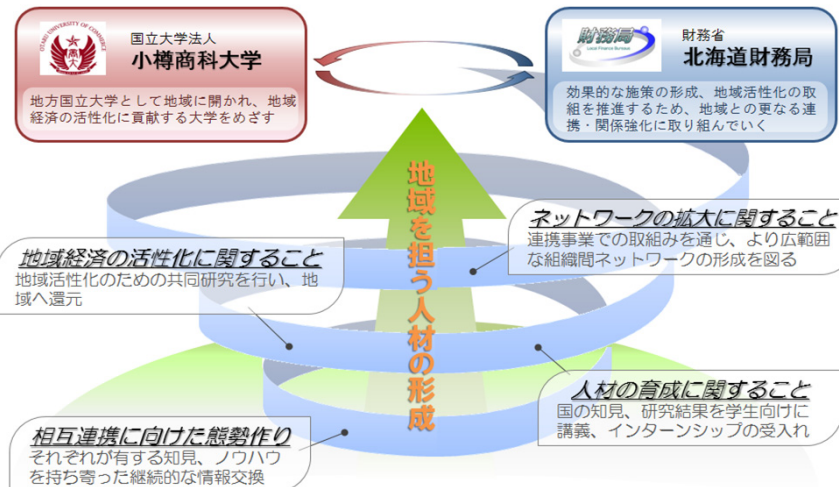
- ◆ 北海道財務局と国立大学法人小樽商科大学(以下「小樽商科大学」)とは、北海道における地域経済・社会の発展のため、地域を担う人材の形成を目的に平成27年2月に包括連携協定を締結、地域経済の活性化や人材の育成に協働して取り組んでいる。
- ◆ 協働の一環として、若手からベテランまでの有志職員による地域活性化プロジェクトチーム「H」PTが、「地域金融」・「森のキレイ」・「地方公共団体財政」の3テーマについて小樽商科大学と共同研究を進めているところ。

### 1. 成果事例の概要等

- 北海道財務局は小樽商科大学と平成27年2月に包括連携協定を締結、地域経済の活性化や人材の育成に協働して取り組んでいる。

#### 国立大学法人小樽商科大学と財務省北海道財務局との包括連携

#### 北海道経済の活性化に向けた連携・協働の取組み



#### ○ “H”PTとは

小樽商科大学と協働すべく発足した、当局職員によるプロジェクトチーム。現在、若手からベテランまで、有志職員約20名が活動中。

“H”PT = “Hopeful(希望に満ちて)”

Positive(楽しく、前向きに) Team



メンバー任命式

- (1)「地域金融」チーム(2)「森のキレイ」チーム(3)「地方公共団体財政」チームに分かれて、現在共同研究を行っている。

### 2. これまでの取組の成果等

#### 「地域金融」チーム

北海道内金融機関の預貸構造の変化からみた資金循環の変遷、及び金融仲介機能の発揮状況を研究。

現在、当局における金融関係統計資料や金融機関の各種係数資料を分析した結果を公表・還元すべく、中間取りまとめ作業を進めている。

#### 「地方公共団体財政」チーム

財務局が行っている、地方公共団体の「財務状況の把握・分析」に資する新たなアプローチを研究。

現在、小樽市の各種政策等に関する情報共有や意見交換を行うなど、「財務状況の把握・分析」に有効なアプローチ方法等について研究を進めている。

#### 「森のキレイ」チーム

北海道の森林を利活用したビジネスの現状及び市場調査と市場成長性に関する研究。

森林資源活用による地域活性化の取り組みで既に一定の成果を出していると考えられる地域(北海道上川地区等)に赴き、現状をインタビュー調査、その結果を研究ノートとして取りまとめ、平成28年3月発行の小樽商科大学の定期刊行物「商学討究」に掲載した。

平成28年5月には、チームメンバーが小樽商科大学「地域学」の講義において、新入生を含む約160人の学生に対して共同研究の状況を説明し、北海道の森林資源の利活用に対する課題などを報告した。



旭川市NPO法人「もりねっと北海道」のインタビュー調査



小樽商科大学における講義「地域学」の様相(平成28年5月)

### 3. 今後の課題と北海道財務局の対応

#### ◀今後の課題▶

- 地域経済活性化、人材育成等を目的としており、長期・継続的に取り組むことが重要。

#### ◀北海道財務局の今後の対応▶

- 今後とも、小樽商科大学との共同研究を進め、地域経済・社会の発展に資する研究及びその情報発信強化とともに、地域を担う人材育成にも協働して取り組んでいく。